

総合格闘技ルール（フルフェイス着用ルール）

服装

空手衣は色付でも良いが綺麗な物を着用し上着袖は7分以上の長さがあり袖及びズボン裾とも捲らない。

男子は空手衣の下には何も着用しない。

女子は白色又は黒色のTシャツまたはラッシュガードを着用することとする。

体重

階級制の場合制限より体重をオーバーしている場合は失格とする。

中学生以上は申告体重より3キロオーバー・小学生以下は2キロオーバーで相手に技有りを与えた状態から試合を始める。

防具

ヘッドガード

前面ポリカーボネートのあるヘッドガードを着用する。（貸出有）

拳

オープンフィンガーグローブ（貸出有）

マウスピース

任意（貸出無し）

ファールカップ

男子は全員ファールカップを着用する。（貸出無し）

胸サポーター

女子は胸サポーターを任意で着用する。（貸出無し）

レッグサポーター

一般上級以外は着用する。（貸出無し）

立技

手足による顔面前面横面及び胸部腹部脚部への打撃、身体と衣服の掴み、投げ、関節技、絞め技を認める（反則は下を参照）

寝技

関節技、絞め技、頭部前面横面及び腹部への手による打撃を認める。

掴み

掴んでからの投げや手足による打撃を認める。

投げ

一本・技有りにはならない。

猪木アリ状態

一方が立っていて一方が片膝以上を床に着いた状態での蹴りはお互い脚部以外は認めない。但しグラウンド状態にいる相手は距離をとるために胸部腹部を足で突っ張ることは認める。

寝技制限

寝技の時間制限、回数制限はないが攻防が膠着状態と判断した場合は審判がスタンディングを命じる。

試合時間

大会の試合時間表を参照してください。

体重判定

大会の試合時間表に記載していますのでそちらを参照してください。

勝敗

- 1, 一本勝ち
- 2, 技有り 2 本による合わせ一本勝ち
- 3, 判定勝ち（体重判定を含む）
- 4, 相手選手の失格、棄権による勝ち

審判

審判は主審 1 人、副審 2 人または 4 人で行う
特別ルールにより副審の人数が変わる場合がある

一本勝ち

反則箇所を除く部位への突き・蹴り等の攻撃で相手選手に片足以上をつけさせるか戦意を喪失させたときは一本勝ちとする。

寝技での頭部前面横面及び腹部への攻撃が連続 3 発以上有効打撃と認められる場合安全のために見込み一本を認める場合がある。

関節技・絞め技などで参ったの合図（タップ）をした場合や参ったの合図をしなくても審判が危険と判断した場合は見込み一本を認める。

苦しいそぶり痛いそぶり逃げるそぶりなど審判が判断した場合は危険・戦意喪失とし試合を止め相手の勝利となる。

中学生以下のクラスは泣いた場合は戦意喪失とみなす。

技有り

反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を決め、相手選手が一時的に効いた素振りをしたとき、または、倒れはしないが大きくバランスを崩したときは技有りとする。

寝技での頭部前面及び腹部への攻撃が連続 2 発以上有効打撃と認められる場合技ありを認める。寝技で技ありがあった場合主審は技ありのあった方に手を上げ意志を示すが声で技ありとは宣告せず試合を続行させる。

技有り 2 つで一本とする。

判定

一本勝ちで決まらない場合は判定で決定する。

判定は主審、副審の過半数以上の支持を有効とする。

延長戦

判定で審判過半数以上の支持がない場合は引き分けとし延長戦を行う。

延長でも引き分けの場合は体重判定及び再延長及び再々延長とする。

反則

- 1, 後頭部及び首・背骨（脊髄・脊柱）
- 2, 金的
- 3, 頭突き
- 4, 目突き
- 5, 膝関節への打撃
- 6, 掴んでからの頭部への膝蹴り
- 7, 片方が片膝以上を着いた状態での両者の頭部胸部腹部への蹴りと肘打ち
- 8, 防具を掴む行為
- 9, 防御を考えない攻撃
- 10, 故意に場外線を両足が完全に越えた場合
- 11, 主審の「止め」が掛かった後の攻撃
- 12, ガッツポーズや相手を威嚇や挑発する行為
- 13, 正しく礼をしない場合

反則には、悪質な場合を除き

- 1 度目で「注意 1」
- 2 度目が「注意 2」
- 3 度目が「減点 1」となり、
- 4 度目が「減点 2」で失格となる。

失格

- 1, 減点 2 となった場合=失格
- 2, 試合中、審判員の指示に従わない場合。
- 3, 粗暴な振る舞い悪質な反則とみなされた場合。
- 4, 出場時刻に遅れた場合
- 5, 主催者が定めた服装、防具の規定に反している場合。
- 6, 著しく礼儀礼節を欠く態度とみなされた場合。

棄権

- 1, 本人の意思または怪我による試合続行不可能となった場合。

異議申し立て

選手やセコンドによる異議申し立ては一切認めない。

審判はいかなる時も公明正大に審判を行いそこで下す最終判断は審判長が全責任を負います。

審判も人間であり間違える場合もあるということを前提に試合に臨み武士道精神に則り潔く従われるようにお願いします。